天正17年（1589年）6月、伊達政宗は、
会津黒川城主（後の若松城）芦名氏を滅ぼし、
その余勢をかって須賀川城を攻撃しようと、
ひそかに岩瀬地方西部の諸将に密使をつかわしていました。

◆須賀川城は女城主

このとき、須賀川城主は二階堂盛義の後室大乗院で、気丈な女城主であり、しかも政宗の伯母でありました。

また、政宗が攻撃した会津黒川城主芦名氏の先代城主芦名盛隆は、大乗院の嫡子であり、滅ぼされた当時の城主芦名義広は、大乗院の孫婿であったことから、大乗院は政宗に降伏することを快しとしませんでした。

政宗の計略を知った二階堂家の家臣や領民たちは、10月10日の夜、手に手に松明を灯し、町の東の丘（十日山）に集まりました。そこで、決死の覚悟で須賀川城を守ることを決議し、城主である大乗院に進言したのでした。

現代俳句協会名誉会長を務められた俳人・金子兜太氏が実際に「松明あかし」を見て詠んだ俳句。ご本人が揮毫したものを句碑にし、松明あかし会場である五老山に建立しました。

◆釈迦堂川で合戦

10月26日（旧暦）未明、伊達政宗は大軍を率いて須賀川を西から東に流れる釈迦堂川の北側にある陣場山（現須賀川桐陽高校付近）に本陣を構え、釈迦堂川を挟んで合戦の火ぶたが切られました。

決戦場となったところは、八幡崎・大黒石口（現須賀川病院付近）と雨呼口（現神田産業付近）で、辰の刻（午前8時頃）に攻撃が開始されました。

須賀川勢は圧倒的な勢力の差にもかかわらず善戦し、敵味方入り乱れての壮絶な戦いとなりました。八幡崎・大黒石口では伊達勢が次々と新たな兵を送り込むなか、一進一退の激しい戦いが続き、敵味方の多くが武人としての最後を遂げました。雨呼口では、初戦での戦闘で須賀川勢が勝利したものの伊達勢は新たな兵を増強し再び雨呼口に押し寄せてきました。

このとき、かねてより伊達政宗に内通していた二階堂家家老の1人、守谷筑後守の手の者が、城本丸の風上にあった長禄寺付近（現長松院付近）に火を放ったため町中が火の海と化し、須賀川城も多くの家臣とともに炎に包まれ、文治5年（1189年）から400年間南奥州の雄として権勢を誇った二階堂家、須賀川城は遂に落城してしまいました。

また、支城・八幡崎城（現八幡山）での戦いは最大の激戦となり、須賀川の兵は、本城落城後も踏みとどまって戦い、ほとんどの兵が討ち死にしました。

◆合戦の犠牲者を弔う

松明あかしは、この戦いで討ち死にした多くの人々の霊を弔うために行われるようになったとされています。

昔は、旧暦の10月10日に行われていましたが、現在は新暦の11月第2土曜日に五老山で行われています。この五老山は天正9年、三春城主・田村清顕方と須賀川城主・二階堂盛義の老臣5人が和睦の交渉をしたことから、五老山と呼ばれるようになったと言われています。

「松明あかし」の主な行事スケジュール

天候等の都合により、スケジュールの一部が変更になる場合もあります。

期　日	時　間	行事名	会　場	備　考
11月10日㈮ 前夜祭	18:00~19:00	八幡山衍義（慰霊会）	岩瀬八幡神社	かがり火設置、小松明行列
11月11日㈯	11:00~	おもてなしフードコート	翠ヶ丘公園芝生広場	飲食コーナー
	13:00~16:00	おもてなしイベント広場	tette	・小松明製作コーナー※製作後、小松明行列に参加できます。
			松明通り 須賀川信用金庫本店 （駐車場）	・甲冑武者との記念撮影 ・戦国鍋（豚汁）ふるまい※なくなり次第終了 ・農産物等の販売コーナー ・キッチンカー出店 ・松明あかし史跡・古戦場ウォーク集合場所（15:15）
	13:30~14:10	松明披露	松明通り吉田医院前	
	14:00	市内学校製作松明出発	松明通り宮先町付近	須賀川市立第一中学校
	15:00	「松明をもりたてる会」製作松明出発	松明通り吉田医院前	担ぎ手約150名参加
	17:00~	団体小松明行列出発	妙見児童公園	約700本
	17:15~17:30	御神火奉受式・献吟	二階堂神社	松明につける御神火を受け取ります
	17:30~18:15	一般参加小松明行列	見晴橋駐車場	・小松明製作コーナーで作った小松明で参加できます ※小松明の販売も行っています（1本500円、限定100本）
	18:00~19:45	松明太鼓演奏	五老山特設ステージ	I部、II部構成
	18:30	松明点火	五老山	「松明をもりたてる会」松明点火後、順次、参加団体の松明約20本に点火

すかがわ×光の国 SISTER CITIES
須賀川市は、「M78星雲 光の国」と姉妹都市です。
http://m78-sukagawa.jp/
©円谷プロ

須賀川伝統火祭り
Fukushima Sukagawa City

松明あかし

たいまつあかし

2023 11/11㈯

前夜祭 11月10日㈮

「松明あかし」に参加しませんか？

募集内容

松明行列（担ぎ手）

内容 吉田医院前を出発地に松明を担ぎ、目抜き通りから五老山までの1.5kmを搬送して松明を人力で立てます。

■参加要件／高校生以上の健康な男性（現地解散になるので帰りの交通手段の確保できる方）

■集合場所／上北町集会所（当日お申し込みの場合はこちらに13:30までに集合してください）

小松明製作コーナー

内容 竹・針金・布を材料に小松明を作ります。出来上がった小松明を持って、夕方からの小松明行列に参加することもできます（材料がなくなり次第終了）。

■参加要件／どなたでも参加できます（小学生以下は保護者同伴）。

■受付時間／13:00～15:30

■場所／須賀川市民交流センター「tette」

小松明行列（一般参加）

内容 点火した小松明を持って、見晴橋駐車場から五老山山頂まで歩き、所定の場所に掛けます。

■参加要件／どなたでも参加できます（小学生以下は保護者同伴）。小松明製作コーナーで作った小松明でご参加ください。また、17:00から見晴橋駐車場で小松明の販売もいたします（1本500円で限定100本）。

■出発時間／17:30　■場所／見晴橋駐車場

松明あかしは「俳句歳時記」に収載され、冬の季語となっています。

お申し込み方法 松明あかし実行委員会事務局へ電話またはEメールにてお申し込みができます。

お問い合わせ・事前お申し込み／松明あかし実行委員会事務局 TEL0248−88−9144

Eメール　kankou@city.sukagawa.fukushima.jp ※Eメールでお申し込みをする場合は住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入の上、送信してください。※当日のお申し込みは、上記集合場所へ集合してください。

会場案内図

P 駐車場
WC トイレ
案 案内所

車両通行止 午後1時～午後5時（松明行列 通過後は通行止め解除）
車両通行止 午後2時～午後5時（松明行列 通過後は通行止め解除）
車両通行止 午後2時30分～午後10時（松明あかし終了後は通行止め解除）
松明行列コース
御神火隊コース
小松明コース
シャトルバス運行ルート
シャトルバス停留所

	駐車場	台数	五老山まで（徒歩）
P1	JA夢みなみ本店	100台	20分
P2	独立行政法人国立病院機構 福島病院	196台	5分
P3	牡丹園（大型バス駐車可）	1000台	シャトルバスで10分
P4	阿武隈小学校	320台	20分
P5	市武道館	50台	15分
P6	第二小学校	40台	15分
P7	市民スポーツ広場	150台	10分
P8（有料）	市役所	252台	15分

ただし、午後1時から午後10時まで入庫の場合、最大9時間無料
地下駐車場は午後6時以降利用（入出庫）できません。

コインパーキングはこちらのQRコードからご覧ください。

※ドローン飛行禁止　松明通り等（交通規制エリア）　五老山一帯

松明行列
最大、長さ8m、重さ2tもの松明を血気盛んな若衆約150人で担ぐ。

松明太鼓
揺らめく松明の炎と、轟く太鼓の競演。

御神火隊
健脚を競う若者が二階堂神社で奉受された御神火を持って、市内を走り五老山を目指す。

有料シャトルバスを運行

電車でおいでの方は須賀川駅から、お車でおいでの方は、牡丹園駐車場からの有料シャトルバスをご利用ください。

運行ルート		料金
JR須賀川駅	～ 松明あかし会場（東部環状線）	200円（片道）
牡丹園駐車場	～ 松明あかし会場（東部環状線）	170円（片道）

16：00～21：00の間、約10分間隔で運行

松明あかし当日、左記のルートで有料シャトルバスが往復しますのでご利用ください。案内図内の停留所📍で乗降できます。

松明点火会場

※五老山山頂は大変混雑します。観覧客の皆さんの安全確保のため、混雑の状況により一時入山を規制する場合がありますので、松明太鼓ステージ前または一般観覧場所の十日山でご覧くださいますようお願いいたします。

■見晴橋駐車場
一般参加小松明受付
午後5時～
一般参加小松明出発
午後5時30分～午後6時15分

■妙見児童公園
団体小松明出発 午後5時

会場周辺は大変混雑します。警備誘導員の指示に従ってください。

■本部（11月11日㊏午後1時～）
五老山　TEL0248-94-5090

❶二階堂家茶毘場（だびじょう）
二階堂家の茶毘場として戦乱で亡くなった二階堂家や家臣の霊を供養している。

❷妙林寺
二階堂為氏公の兜にはめられていたと伝わる寺宝の十一面観世音菩薩は二階堂氏の守り本尊と言われている。

❸二階堂神社
二階堂為氏公を奉斎している神社で、大正6年秋田県角館町（現在の仙北市）に住む二階堂氏の正系により御神体、宝物を拝領して、城跡本丸に創建された。

❹普応寺
二階堂為氏公が中興開基となり、二階堂累代の位碑が安置されている。

❺長禄寺
二階堂家の菩提寺。須賀川城主二階堂盛義公の後室阿南方（大乗院）の廟所などがある。

❻八幡山
当時、須賀川城の支城・八幡崎城があり、本城落城後も須賀川の兵が踏みとどまって奮戦した最大の激戦地。現在は岩瀬八幡神社が建つ。

■主　　催：松明あかし実行委員会
■お問い合わせ：松明あかし実行委員会事務局☎0248-88-9144

●駐車スペースに限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。ごみの持ち帰りにご協力をお願いします。